

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	友好都市交流事業							予算事業名	友好都市交流事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			10	05	03	2005	経常経費					
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう 多様性を尊重し合える社会づくり 地域間交流の促進							事業の区分	主要事業			
								担当課係等	生涯学習課 生涯学習係			
事業期間	継続 (年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
結城市の子どもたちが結城市の歴史や文化を知り、さらに福井市との関わりや福井市の歴史や文化等を学び、福井市の子どもたちとの相互交流を図ることによって、様々な体験、交流活動を通し、積極性や協調性を養い、結城市の将来を担うリーダーを育成する。							結城市と福井市の歴史的な繋がりを縁として、平成14年4月に友好都市締結が行われ、その年の7月から小学生相互交流が始まった。また、実施主体が福井市では子ども会ということで、平成22年度から担当課が指導課から生涯学習課へ移管された。					
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】					
<ul style="list-style-type: none"> ・友好都市の相互訪問を通し、結城市と福井市の歴史的な関わりを学ぶ。 ・藍染や機織りなど様々な体験をすることで、互いの市の歴史や文化に触れる。 ・共同作業、宿泊をともにすることにより、子ども同士の交流を深める。 ・事前、事後学習会及び報告書の作成や事業報告会を行い、事業の効果的な実施と広報を図る。 ・子ども親善大使任命書を交付し、親善大使としての意識づけを行う。 							市内小学6年生					
							【事業をとりまく環境の変化】					
							交通手段の発達やインターネットの普及により、いつでも、どこからでも、様々な交流が可能な時代を迎え、今後は、交流後の関係を育む体制の充実や、情報発信の工夫など多様な施策の展開が求められている。					
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】				
結城市福井市の子ども親善大使各8人の相互訪問による交流 事前・事後学習会の実施 事業報告会 (展示) の開催				結城市福井市の子ども親善大使各8人の相互訪問による交流 事前・事後学習会の実施 事業報告会 (展示) の開催				結城市福井市の子ども親善大使各8人の相互訪問による交流 事前・事後学習会の実施 事業報告会 (展示) の開催				

■ 事業費

		R06年度	R07年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	659	662			
歳 入 計 (千 円)		659	662			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	08 旅費	104	116			
	10 需用費	9	0			
	18 負担金補助及び交付金	546	546			
歳 出 計 (千 円) (A)		659	662			
伸 び 率 (%)			0.45			
備 考	総合計画110ページ 予算書198ページ					

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	相互交流・研修等実施回数	回	目標	6.00	9.00	9.00
	事前・事後研修含		実績	9.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	両市の歴史的な背景や文化財等について、実際に現地で体験しながら学習するとともに、両市での体験活動において、交流事業参加者のみならず、様々な人と関わり、児童が社会的に成長する貴重な機会となっている。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらも言えない	福井市側の、実施主体が子ども会育成連合会であるが、結城市では参加者を子ども会会員に限定していないため、行政が実施主体となっている。
	手段の妥当性	A 妥当である	歴史的なかかわりが深く友好都市である福井市との交流を深めるにあたって、親善大使となった児童が両市を代表して相互訪問を行うことはその後の継続的な交流も期待することができ、妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	日程調整や交流内容の決定のみでなく、交流期間中の引率、宿泊指導などに多くの人員が必要のため、職員の人的な負担が大きい。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	市内小学校に在籍する400人以上の六年生に対して、現行の方式だと参加者が8名と小人数に限られてしまう。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	事業後は、親善大使として参加した児童同士だけでなく、市子連役員も含めて福井市との交流が広がっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	市子連と協力しながら順調に実施することができている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事業後の参加児童や保護者の感想やアンケートの結果によると、本事業は効果的と評価できる。その効果が交流期間中だけにとどまらないよう、活動内容の市民への周知方法や継続的な交流活動について検討していく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>参加した小学生が交流の中で感じたことを、それぞれの小学校で発表する機会を設けるなど、交流の成果を、より多くの人と共有できる方法を検討する必要がある。</p> <p>また、本事業に留まることなく、その後、中学生、高校生、大人になっても交流が続くような事業展開も検討したい。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり</p>
<p>管理課連絡欄</p>